

利便向上内容カテゴリー	見やすさ・分かりやすさ	使いやすさ	快適さ	楽しさ	速達性	低廉性
			○			○
カテゴリー	バスダイヤの改善					
取組主体	青森県八戸市					
取組の概要	<p>市営・南部による「八戸駅線」の10分間隔共同運行及び「八太郎幹線」の20分間隔共同運行を実施。</p> <p>・各事業者が独自に系統・ダイヤを編成していたが、共同運行を実施、2社2経路のダイヤを平準化した結果10分間隔での運行が可能に</p>					
						
	出典：第8回 地域バス交通活性化セミナー 講演②資料					
取組の効果	<p>平日の運行本数228便⇒182便（▲46便）</p> <p>効率的な運行が可能となり、利便性が高まった</p>					